

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1070700396		
法人名	有限会社 入ヶ谷福祉		
事業所名	グループホーム よろこび		
所在地	群馬県館林市入ヶ谷町98番地		
自己評価作成日	平成23年10月14日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/">http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル5階		
訪問調査日	平成23年10月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

周辺には田畑が広がり、自然に恵まれ、のどかな生活環境の中にグループホームよろこびはありません。玄関前には十分な駐車スペースが確保され面会に立ち寄るのも容易であります。又駐車場脇には家庭菜園もあり、地域の方々との交流の場にもなっています。もちろん新鮮な野菜の提供にも一役買っています。敷地内をめぐるだけでも十分な散歩を楽しむことが出来て、四季の変化も感じることが出来ます。居間は天井が高く開放感があり、室内の清掃が行き届き清潔感が保たれています。共有スペースでは入居者一人ひとりが好みの場所でゆったり、のんびり過ごす事ができ、歩行器、シルバーカー、車イス等の使用でも安全に移動できる広さを十分に確保できています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の生活はゆったりとしている。それぞれ思い思いの時間が流れている。広い共用空間から芝生の庭や庭木が眺められる。ゆったりした田園風景の中でも車の往来や利用者の外出の姿が見え、利用者からは面会者や職員の動き等を見られている。ホームの畑を近隣の人が面倒をみてくれ地域がら畑を通して近隣との関係性が出来ている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	カンファレンス、朝礼等で通知、徹底を図っています。	開設して7年を経て、理念は面会者にもわかるように玄関の目につく位置に掲示されている。カンファレンスやケア会議で共有し地域住民にも説明されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の活動(お祭り、清掃活動)にも参加する。ホームの行事にも地域の老人会等の方々が参加され年々交流を深めています。	地域の祭りや周辺の清掃活動には参加できる利用者と供に参加している。ホームの「よろこび祭り」を5月に行い、利用者・家族・地元の老人会や近隣の人にも参加してもらい会話が弾んだ。ボランティアが畑の世話をしてくれたり野菜を植えてくれ協力してもらっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	同上、事業所開設より7年半が経過し、地域の方々も徐々にではありますが認知症の方々への理解が進んでいるように感じます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議は不定期ではございますが、実施しております。行政のご意見や地域住民のご意見、御家族のご意見を参考に、より良いケアの提供に役立てたいと考えております。	23年度は開催していない。22年度も定期的には開催されていない。家族・市職員・隣接している明和町職員等が参加し、感染症予防・外部評価結果報告・家族との意見交換を行っている。「よろこび祭り」も会議当日行っている。会議結果は不参加者には報告していない。	定期的な開催と運営推進会議の議事録を会議不参加者に報告してみたいかがか。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	同上、事業所開設より7年半が経過し、行政のご意見やご指導を積極的に取り入れ協力体制の構築を行っております。	管理者は館林の介護認定審査委員であり、ホーム改修などで役所関係者と連携している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者の身体拘束をしないケアの実践に関する勉強等は、日常業務の中やカンファレンス、朝礼(申し送り)で行っております。内容に関しては申し送りノート等で各職員への周知、徹底を図っています。	門扉は夕方5時頃防犯の為に施錠し翌朝9時頃開錠している。タッチセンサーで開けている。身体拘束についてはカンファレンスや朝礼で確認し休日利用の研修等にも参加している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者の虐待防止に関する勉強等は、日常業務の中やカンファレンス、朝礼(申し送り)で行っております。内容に関しては申し送りノート等で各職員への周知、徹底を図っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	高齢者の権利擁護に関する勉強等は、日常業務の中やカンファレンス、朝礼(申し送り)で行っております。内容に関しては申し送りノート等で各職員への周知、徹底を図っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時に、又は解約時ご利用者様御家族の皆様には十分な説明を行ってご理解を得ております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者の病院受診等御家族のご要望にて、施設側が対応したり、ご利用者様の外出の希望を聞いたり、実践できていると思います。	入居時に家族や本人から意見を聞いている。日常的にも受診や更新申請代理・衣類の購入等の希望に沿いサービスに反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する職員意見の反映は、管理者及びリーダー職員が各職員意見の集約を行い、カンファレンス、業務会議、朝礼(申し送り)で行っております。内容に関しては申し送りノート等で各職員への周知、徹底を図っています。	3名のリーダーが現場や労務について職員から意見を吸い上げている。意見はカンファレンスの場で共有し検討されている。キザミ食、オムツ、清掃などが検討され改善策は取り入れられている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境の整備は、管理者及びリーダー職員が各職員意見の集約を行い、日常業務の中やカンファレンス、業務会議、朝礼(申し送り)で行っております。必要に応じて個人面談等を行います。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	流動的な介護人材の育成は困難を伴いますが、実際に新しく入職した職員のスキルが向上しないと運営に支障をきたす場合があるため、新人教育には注力して行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	群馬県の地域密着型サービス連絡協議会に加入し様々な研修や会合に参加させていただいております。又、市内の同業者様との交流も行い、情報交換等を行って、サービスの向上に取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の要望や訴えには傾聴を行い、安心感や信頼感を得られるよう努力しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者様の御家族の要望等は、契約時に重要事項等の説明を十分に行い、ご理解や安心感、又は信頼感を得られるよう努力しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様の御家族の要望等は、契約時に重要事項等の説明を十分に行い、ご理解や安心感、又は信頼感を得られるよう努力しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様にはできる範囲で、家事や施設の行事等に参加していただきながら、できるだけ一方通行の関係にならないように努力しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	契約の締結時からそれ以降も、ご利用者様や御家族の皆様には十分な説明を行って、施設と御家族のが相互に補完しあえる関係性の構築を行い、できるだけできるだけ一方通行の関係にならないように努力しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出、受診等で支援しております。	家族の他友人や近隣の人や行きつけの店の主人が面会に来ている。面会者にはソファコーナー等で会話を楽しんでもらう工夫をしている。衣類の買い物や食材の買出しと一緒にいたり家族とのお墓参りや正月の外泊等で馴染みの関係を継続させている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや外出等でご利用者同士のコミュニケーションを取れるよう支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	全てのご利用者様ではありませんが、退去された後も折にふれ連絡を取り、近況の確認を行っております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の業務の中や、カンファレンス、業務会議、朝礼(申し送り)等にて各職員、パート職員が検討しております。内容に関してはカンファレンス、業務会議、朝礼(申し送り)申し送りノート等で各職員への周知、徹底を図っております。	本人の意向のわからない人には過去の生活や趣味などを聞き把握し家族からは面会時に意向の確認をしている。担当者会議や業務会議・カンファレンスで話し合い計画に繋がっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約時、入居時にはアセスメント等にて受け入れの検討会を行います。その時に左記の内容に関して検討し職員間の周知を図っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	同上です。入居時に良く観察したり、御本人様の話を傾聴したりして左記の内容に関して検討し職員間で現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス、業務会議、朝礼(申し送り)申し送りノート等で検討、計画の作成、周知を図っております。	3ヶ月に1度のモニタリングと6ヶ月と随時の見直しをしている。ケアマネジャーが家族等へ説明している。	月に1度のモニタリングを参考に3か月毎の見直しを行い現状に即した介護計画の作成をしてはいかがか。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	左記の内容も同上で、カンファレンス、業務会議、朝礼(申し送り)申し送りノート等で検討、計画の作成、周知を図っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会や外出、受診等で支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出時等に館林関内や周辺施設を利用し暮らしを楽しませる工夫を行っております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	疾病の内容によって専門医を受診するなど支援しております。	利用者により希望するかかり付け医と協力医の支援を受けている。2週間に1度の往診支援もある。家族受診が原則であるが家族の都合によりホームでも対応している。バイタル等は家族に情報提供している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者や計画作成担当者及びリーダー職員が看護や医療の窓口を兼務しておりますので、疾病の内容によっては、専門医を受診するなどして、ご利用者が適切な医療を受けられるよう支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者や計画作成担当者及びリーダー職員が看護や医療の窓口を兼務しておりますので、ご利用者が適切な医療を受けられるよう医療関係者との関係作りを行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	管理者や計画作成担当者及びリーダー職員が看護や医療の窓口を兼務しております。重度化した場合、ご本人や御家族と、今後の状態を話し合い方針を決定し、共有しながら支援に取り組んでおります。	医療連携加算等は取っていない。看護師もいないので終末期については検討中である。医療依存度が高くなった場合はホームでの介護は無理だと思われる。食べられなくなった場合、医師と家族とホームで相談している。	終末期についてはホームの指針を作成し方針を関係者で共有してほしい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、急変時には適切な対応を取っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回実施し、防災対策をとっております。	昼夜想定消防署立会いの訓練を行っている。近隣住民へは口頭でお願いしている。区長へは地域の災害時の避難場所にしてもらっても良いと伝えている。自主訓練はまだしていない。電池、懐中電気、ランタン等の用意がある。	職員と利用者が避難経路を見につけるための自主訓練と非常時用の食糧の備蓄をお願いしたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人でプライバシーポリシーを策定し、ご利用者のプライバシー保護に努めております。	法人の方針をカンファレンス等で職員に指導し、利用者には排泄時や入浴時のプライバシーの配慮とさりげない声かけをしている。呼名は原則「～さん」だが、地域性と利用者の性格やバックボーンを考えて家族の了解の下「～ちゃん」と呼んでいる人もいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各職員がご利用者様の意向をよく確認し、自己決定できるように支援していると思います。なかにはそれが出来ないご利用者様もおりますので、その場合は職員が推量して支援します。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事を取る時間がゆっくりの利用者様もいますし、入浴に時間がかかる方もいます。出来るだけそのペースに、我々があわせるように努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	各職員がご利用者様の衣類を季節ごとに交換したり、1日に何回も着替えられる方のお手伝いを行ったり、まめにお洗濯をしたりできることは支援していると思います。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各職員がご利用者様の好みの料理を確認、調査したり、嚥下の悪い方の食事やおやつを工夫したり、できることは支援していると思います。片付けは以前は出来ましたがだんだん困難になりました。	職員は利用者と一緒に同じ物を食べている。利用者はおしぼりをたたんで準備を手伝ってくれている。献立は献立会議があり利用者の好みを聞いてメニューに反映される。誕生会やお茶会ではケーキを買ったり、行事の時に行事食として寿司等を買って楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	実はここが一番気を使っているところであります。各職員がご利用者様の状態や体調をよく確認し、支援していると思います。ご利用者様の状態や体調はとても不安定ですからまめに確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事を取った後は口腔ケアを実践しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご利用者様の状態や体調をよく確認し、支援していると思います。ご利用者様の状態で排泄の支援の仕方は変わっていくと考えます。出来ることはやっていたいております。	排泄チェック表(尿・便の記録)を参考に誘導している。日中は個人に合わせたオムツ等の組み合わせをしている。仕様の変更は会議で共有している。夜間オムツの人には定期で交換を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	レクやリハビリ又は便秘の予防の一環として、リハビリ体操や歩行の支援を行っております。食事の内容も野菜や食物繊維の豊富なものを取り入れていると思います。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	出来るだけ支援していると思います。	月・水・金曜日を入浴日と決めている。午前中から午後入浴も入浴している。もし入れなかったり(体調、職員数)した場合は火・木・土曜日に入れることもある。入浴剤等を用いている。失禁等で清潔保持のためにシャワー対応をしている。	入浴日の設定を解除する方向で検討してほしい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様が認知症であるため、細かい内容までご理解いただけてるか難しいですが、各職員がは、ご利用者様の状態や体調をよく確認し状況に合わせた安眠や休息の支援を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様が認知症であるため、服薬管理の細かい内容までご理解いただけてるか難しいですが、各職員はできるだけ説明をして服薬支援していると思います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お掃除や洗濯物たたみ、オシボリ作りなど各利用者様の出来ることで役割を担ってもらい、自分は必要な人間なんだとだけ思っているように支援していると思います。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来るだけ支援していえると思います。季節ごとにお花見等を企画し実施しております。	食材の買出しやお花見(コスモス、桜)等楽しんでいる。散歩や庭での外気浴やお茶会・庭のお花(こすもす・ひがん花)を愛でる等で日常的な外出支援を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭や貴重品の所持については、以前ご利用者様で紛失したことが問題になり、それ以後、トラブル防止のため、施設内での金銭及び貴重品の所持は禁止させていただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	管理者や各職員がご利用者の要望を聞き、電話をかけたり、手紙を出したり出来るように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広く取っており、ご利用者様が自由に過ごせるように工夫していると思います。季節感を取り入れた装飾を施したりして楽しんでいただいております。	南側には利根川の堤防が見え、明るくて広い共有空間である。畳コーナーには将棋の用意がある。テーブルやソファが置かれ、利用者の作品が掲示され観葉植物や庭の畑や花が見える。テーブルには新聞が自由に読めるように置かれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間は広く取っており、ご利用者様が自由に過ごせるように工夫していると思います。又居室ではゆっくりお1人で過ごされたりしているようです。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ち込まれるなどして、出来るだけ居心地良く過ごしていただけるよう工夫していると思います。	テレビや桐のタンス・寝具・ぬいぐるみ・家族の写真・花が持ち込まれ、マットが敷かれ居心地良さそうである。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂といった掲示物の設置を行うなどして、出来るだけ安全に配慮して、工夫して支援していると思います。		